

2024年3月11日
株式会社 IHI エスキューブ

「健康経営優良法人 2024～ホワイト 500～」に 8 年連続で認定

このたび IHI エスキューブは、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人 2024～大規模法人ホワイト 500～」に 8 年連続で認定されましたので、お知らせいたします。



IHI エスキューブでは、経営理念「人材こそが最大かつ唯一の財産である」に基づき、従業員一人ひとりが自分の能力を最大限発揮できることを目指し、健康経営に戦略的に取り組んでいます。

また、「基本は人、チャレンジ」を創業当時の行動規範として掲げておりますが、従業員が意欲をもってチャレンジを自ら迎え、成長することを目指すためには、基盤としての健康は欠かせません。

こうした背景のもと、2015年10月の健康経営宣言以降、経営トップの積極的な関与のもと、様々なテーマでグッドコンディション活動を展開し、全社一丸となって従業員とともに健康経営に取り組んでまいりました。

そして2021年9月には健康経営宣言を改定し、「健康や幸せを追求することが、それぞれの能力や特性を引き出し、一人ひとりの成長や豊かな人生を実現し、会社の発展や世の中の貢献につながる」との考えのもと、ウェルビーイング経営にも取り組んでいます。

直近の事例として、手上げ式で集まった従業員同士でウェルビーイングの探求活動を支援しています(探求テーマ例：働きがいとは、運動と就業意欲、ワーケーショントライアル、シェアオフィスの活用)。

これらの活動を通じて、わたしたち一人ひとりが、健康の大切さを意識するようになったことは大きな成果であると考えています。一方、従業員の平均年齢の上昇やテレワークの普及によりライフスタイルが大きく変化した影響を受けて、健康診断の要管理者率の高止まりや運動習慣の低迷など、健康指標の課題が残っているのが現状です。

これからも、ウェルビーイングの実現と多様な人材の活躍に向けて、「一人ひとりの健幸」と「すべての人が働きがいを感じられる職場づくり」に従業員とともに取り組んでまいります。そして、健康経営を通じて「従業員一人ひとりの成長と豊かな人生」を実現し、大切な従業員から生み出される資本をもって、新たな企業価値の向上を目指していきます。

【経営トップからのコメント】

株式会社 I H I エスキューブ

代表取締役社長 加藤 格

健康経営最高責任者



IHI グループには、「技術をもって社会の発展に貢献する」「人材こそが最大かつ唯一の財産である」という脈々と受け継いできた経営理念があります。この理念の基、2023 年度には、「良い+強い」会社と個人の「成長+幸せ」の両立を目指した「グループ人財戦略 2023」を策定し、実行しています。また、IHI エスキューブには、「基本は人 チャレンジ スピード 感謝」という行動規範があり、社員共通の大切な価値観となっています。

グループ人財戦略 2023 では「変革への挑戦」を社員に求める評価軸として定義しています。これからの時代、社員一人ひとりが自ら能動的に目標を定め「チャレンジ」する意識と行動が、将来に向けた IHI グループの成長と個人の成長に必要な不可欠であると考えます。

これらの原動力は、社員の「熱意・活力・没頭」という3つの要素と、それらを支える「健康」という重要な基盤であると私たちは考え、日々健康経営に関する議論を重ね、強化に取り組んでいるところです。

今年度は総合評価が昨年より若干下がったものの、62.5 という高い数値が得られました。毎年積み上げてきた活動に対し一定の評価が得られたものと、非常に嬉しく思います。

一方で、詳細分析を見ると「評価・改善」の項目の数値が他の要素に比べ相対的に低い数値となっています。特に「労働時間・休職」の数値は、業種平均をわずかに上回る評価にとどまっています。

デジタル技術が社会や生活を変えるようになり、IHI グループにおいても、デジタルトランスフォーメーション(DX)に向け、当社への期待がここ数年急速に高まっています。そのための人財の育成・確保と働きやすい環境づくりが、デジタル技術のプロ集団を目指す IHI エスキューブの課題の一つです。

毎年の健康経営度調査を自社の健康状態を定点観測する契機ととらえ、これからも、フィードバック結果を有効に分析・活用し、社員一人ひとりの幸福と成長につながる施策を展開していきます。それらの成果を IHI グループの成長に、そして経営理念にある「社会の発展への貢献」に繋げていくことを信条として、今後も健康経営に積極的に取り組んでいきます。

以上

2024 年 3 月 11 日

代表取締役社長 加藤 格

【弊社 健康経営コンサルタントからのコメント】

樋口 毅 (Higuchi Tsuyoshi)

株式会社ルネサンス 執行役員 健康経営企画部 部長

NPO 法人健康経営研究会 理事

健康経営会議実行委員会 事務局長

健康長寿産業連合会 事務局長 / 健康経営 WG 共同座長



令和5年度の健康経営度調査は、「総合評価 62.5」で、昨年より0.4ポイントの下降が認められました。これは、前年度から351件、合計3,523件と、申請件数増加の影響と推測されます。このような状況下の中で、上位10%の251~300位という結果は、大変、先進的な取り組みであると評価できます。

評価の内訳は6側面中5側面の偏差値が60以上であり、「制度・施策実行 68.0」という高い偏差値結果からも、健康経営への投資が積極的に行われていることが推測されます。しかしながら、「評価・改善 58.7」と60を下回っています。特に、「労働時間・休職 52.5」、「健康診断・ストレスチェック 57.1」となっており、これらの改善に向けての取り組みが今後の課題といえます。

IHI エスキューブでは、経営理念「人材こそが最大かつ唯一の財産である」に基づき、経営戦略の一環として、健康経営に取り組んでおられます。昨今、話題の「人的資本」も、健康経営によって生み出される「健康資本」も、『従業員 個人の所有物である。』ということが大前提となります。経営理念を実現するためには、従業員が、健康経営を「自分ゴト」として捉え、行動を起こし、個々の課題改善に取り組むこと。そして、そのきっかけづくりとして組織の「自分たちゴト化」に取り組むことが大切です。

「自分ゴト化」のためには、「なぜ、健康である必要があるのか？」という、取り組む目的を明らかにすることが求められます。そのうえで、「何を、どのように取り組めばよいのか？」という点については、自らの課題を理解し、改善に取り組むための『ヘルスリテラシー』を高める支援が重要です。さらには、「自己の課題と、とるべき行動を理解できている状態」になっていたとしても、行動を起こせない場合があります。ここに、組織の「自分たちゴト化」高めることで、上司と同僚からのエンパワーメントが受けられる風土の醸成が必要となります。

以上

【参考】

◆IHI エスキューブ 健康経営について

<https://www.iscube.co.jp/contents/health1.html>

◆経済産業省 健康経営優良法人認定制度

<https://www.meti.go.jp/press/2023/03/20240311004/20240311004.html>

<「健康経営優良法人」認定制度>

経済産業省が日本健康会議と共同で開始したもので、特に優良な健康経営を実践している企業等の法人を顕彰する制度です。また、健康経営優良法人（大規模法人部門）の中で、健康経営度調査結果の上位500法人が「ホワイト500」として認定されます